

「宇治市 中学生の主張 大会」

11月11日(土)に宇治市折居台にあります「宇治市文化センター」の大ホールに於きまして宇治市連合育友会(他2団体)主催イベントであります「平成29年度第36回宇治市 中学生の主張 大会」を開催いたしました。

本年度も、市内にあります公立中学校10校と私立中学校1校から選抜されました、11人の生徒が思いを主張してくれました。

本年度からは宇治市条例の施行も有り、手話通訳者を主張者の横に配する新しい形を採用されました。

この「宇治市 中学生の主張大会」は、中学生の皆さんが、普段感じ考えていることをステージに立ち、人前で発表するという、通常の生活では体験出来ない機会となっております。人の前で自分の考えを発表するという経験は、発表した全ての中学生達にとってかけがえのない経験となります。また、同世代の発表を聞かれた中学生の皆さんにとっても、良い経験になったと思っております。またこの主張大会を通して、改めて世代を超えて新たな考えや思いを共有出来たこと、そして何よりも現代中学生の思いを皆様方と共有させていただけたことに喜びを感じております。

当日発表いただいた主張内容は、それぞれの主張に熱い思いや考えが詰まっており、各賞を決める講評団会議に於きましても甲乙付けがたい状況でした。

最後になりましたが、今回の主張大会に於きまして、司会・パンフレット挿絵等でお世話になりました西宇治中学校の皆様、並びに大会運営に御尽力を賜りました宇治市教育委員会をはじめ多くの関係者の皆様に感謝の意を表させていただきます。

なお、宇治市連合育友会賞は、宇治市立黄檗中学校 山田ももこさんの主張「私の考えるバリアフリー」に贈られました。



〈主張発表大会に参加してくれた生徒達〉



〈宇治市連合育友会賞の贈呈〉